



インド福祉村協会 (IWVS)

<http://iwvs.web.infoseek.co.jp>

現地 PM 加藤 伸也

2009年3月5日 発行 第18号

JICA 草の根支援協力

「保健衛生と人材育成」事業 実施中

2007年9月～2010年8月

## 2月26-27日 JICA-NGOs 安全対策会議

この第5回会議はデリーで開かれました。毎年、青年海外協力隊員(10人)や JICA と契約した NGO(6団体)及び JICA 専門家等が対象です。青年隊員もインド各地で日本語教師、柔道教員として教えています。大使館、JICA 地球広場からも参加され行われました。

どこの国でも犯罪はありますが、特異的な事を書いてみます。

### 1. 麻薬 インドの都市伝説? → デマが飛んでいるようです

- ・政府公認の麻薬販売所がある (?\_?) → ありません (\*\_\*)
- ・20g以下は犯罪にならない (-\_-;) → 所持するだけで犯罪 (:\_;) )
- ・ホーリー(3月の祭り)には大麻入りラッシー解禁 → ありません
- ・警察官にお金を渡すと無罪放免 → 罪の加算です

### 2. 他の犯罪に関すること

- ・必ず何らかの武器を持っている → ¥(\*\_\*)/ 拳銃も持っている。抵抗せず、金等を渡す。
- ・居住宅のチェック → 外壁、窓、明かり等
- ・警察に届けたら、担当した人の階級、氏名、電話番号を控える。
- ・調査は警察官が作成。ヒンディ語で書いたもの、英語で書いてあっても、納得いかないものにはサインをしない。

### 3. 治安情勢

テロ組織名と活動地域、及び対策と心得等も説明がありました。

その他には、「安全な生活」、「精神的な安定」等を毎日留意して、安全に帰国を迎えられるよう、話もありました。なんとと言っても、最大の「安全対策」は政治的不安定な状況での対策です。ムンバイ・テロで一触即発の危機がありました。個人では何とも対処し難いことです。話し合い解決を望むところですね (^\_^)v。

## インドのあれこれ

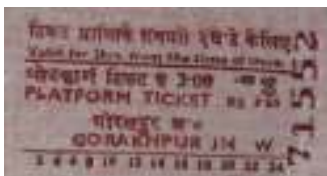
- ・新聞報道 一番びっくりしたのが、写真報道です。死体の写真は日本では見かけません。ここインドは無修正でそのまま写真が掲載されています。一家心中の写真、首つり自殺の写真、テロリストの無惨な姿などです。確かに真実の写真でしょうが、衝撃的ではあります。

映画・TVドラマではこのようなシーンはありますが、見る側は作り物としてみます。

一家心中写真は大人二人に子供4人が「寝ている」写真だけど、何の写真か不明でした。

スタッフの説明で分かりました。

## ・ 駅



駅には改札口はありません。寝台列車は検札に来ますが、他の列車にも行くのかは不明です。でも、入場券(左)はあります。もし、持っていないと罰金を払うのだそうです。誰がチェックするのでしょうか。駅員は日本のように見かけません。みんな切符を持っているのかな？。

首都のデリー駅も同じです。

プラットホームには「牛」も列車を待っています。「犬」も待っています。あれ!、「ネズミ」も待っています。プラットホームは賑やかにゆったりと何時間も遅れる列車を待っています。

もちろん、動物の入場券はありませんが、でも、目を楽しませてくれます。

そして、車内放送は一切ありません。日本はうるさく、親切ですよ。

